

木材と考える、

「ひとに教える」ということ

元岐阜県立森林文化アカデミー 助教授 ● 上田 麟太郎



して押し付けるのは上手くいきません。それぞれ個性を見極めて、教える人としてのかかり方を考えて、最も良さそうな在り方を提案することが「教える」営みには大事なことだと思います。

●「分からない」を伝える

製材や木材加工は、機械に材料を置いてボタンを押せば終わり、というものではありません。材料を見て、加工して、材料をまた見て、加工して……の繰り返しです。木材という材料は、一つずつ違います。同じ加工方法がずっと上手くいくとは限りません。結果は加工するまで分からないのです。では、何を見ればいいのか？どんな手順が必要で、なぜそうするのか？というと、ただ説明されてもピンと来ないものです。

学生に教えていると、「なぜ？」「どうやって？」「自分で考えてもらうことが大事なのだと気付かされます。ただ体験すれば良いものではなく、正しい手順を与えて「これやって」では、結果はいくら面白くても「へえ」で終わってしまいます。与えられるだけでは身に付きません。うまくいくか分からないものを自分で掴み取るからこそ、面白いのです。

そこで、教えるなかで「なぜ？」と尋ねることや、「やってみて」を大事にしています。やらないと分からない。だから、理由も含めてちゃんと自分で考えて、ひとまず試してみる。失敗もしなければ、正しい手順がなぜ正しいのかも分かりません。分かりきった答えでなく、「やらないと分からない」ことを伝えることも、「教える」ことの大事な側面でしょうか。

アカデミーで教員を務めて2年が経ちました。着任まで大学で博士課程まで9年間学生をしていた身ですので、教わる立場としてはプロ(?)を自負していました。が、教える立場になって改めて考えるものがあります。アカデミーで木材と関わりながら「教える」ってなんだろう？と考えていると、木材とのつながりをふと感じることがあります。今回は、そんな事柄についてご紹介いたします。

●受けたものは残り続ける

写真1に、入り皮のある丸太の断面を示しました。例えばシカに剥がれたり、幹が凍結して割れたりなどして樹皮が損傷すると、その部分を巻き込むように周囲から材が成長していきます。その結果、材の内側に取り込まれてしまった樹皮が入り皮です(余談ですが、材の成長は遅く、完全に取っ込むにはかなりの時間が掛かります。写真1の例はシカ害とみられますが、損傷した部分を覆い込むのに10年以上掛かっています)。木材にはほかに、過去の自然災害の経験が年輪に残るもの



写真1. 入り皮のある丸太断面

(洪水輪、霜輪など)もあります。木材の経験は、材のなかに記録され残り続けるのです。

樹皮を剥がすほうからすればつゆ知らずで構わないでしょうが、人の場合、そうはいきません。学生時代からこれまでを通じて、「先生、こう言ってますけども経験しました。言ったほうは忘れていても、言われたほうはしっかりと覚えているものです。そこでのズレ、一貫性のなさは信頼感にかかわります。信頼がなければ、教えたところで「言われたからやりました」が関の山で、結局何も伝わらなくなってしまいます。だからこそ、言ったことを覚えておくのは当然として、何かを指示した以上は自分でも必ず履行する(自分ができない・しないことはそもそも指示しない)ように注意しています。

さて、入り皮は周囲の木材と完全に繋がっている訳ではないため、力が掛かるとここで割れてしまいます。腐れが入ることもあります。そのため、入り皮のある木材はほぼチップ材として安値がつくことになり、残すのなら、良いもの、腐らないものを残したいものですね。

●曲がったままでもいい

曲がった木から無理にまっすぐな(通直な)材を製材しても、やがて曲がってしまいます。挽いた直後は全体として通直に

見えても、構成する繊維自体が斜め向きになっているため、乾燥させると元の形に戻ろうとするかのように曲がるのです。ねじれがある木も同様で、きれいに直角の出た角材を製材しても、乾燥させると材がねじれて仕上がります。もって生まれた性質は、製材では変えることができません。

曲がり木であれば、曲がりの少ない部分だけを選んで出来るだけ通直な材を採る手もありますが、曲がった部分を捨てることになるのは考えものです。強度などを考えるも結局、曲がり木から通直な材を採ることにはあまりメリットがありません。曲がり木は例えば破風板など、曲がった形の材として使うのが一番良い方法です。通直な材から曲がった材を採り出す場合よりもロスが少ないだけでなく、破損しにくくなることも期待できます。

教える人として他人にかかわるのも同じことで、相手のもって生まれた個性は変えることができないものです。何かを正解と



写真2. 曲がりのある丸太



写真3. 破風板の例(犬山城天守閣)